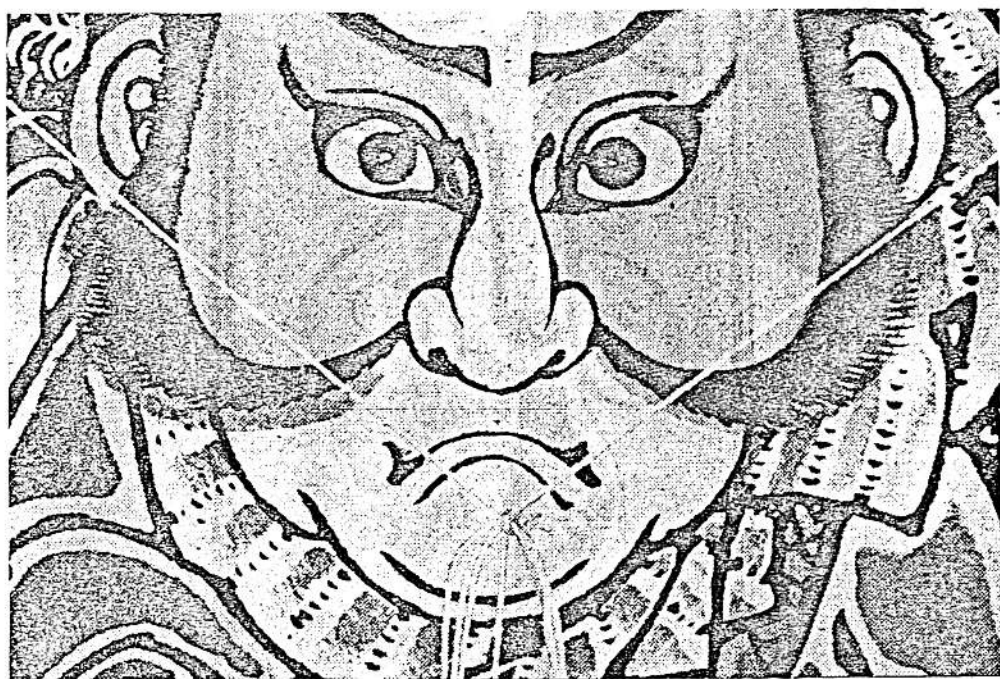
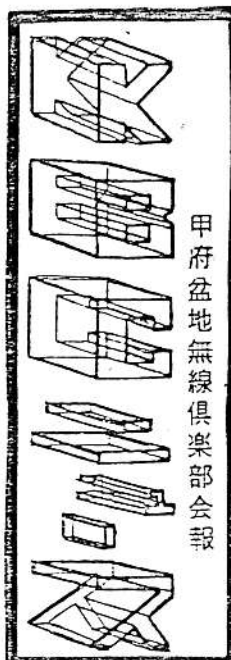




本年もよろしく

マイコン時代 きたる!

子供から大人までマイコンマイコンと騒いでいますが、マイコンという物はいったい何でしょうか。マイコンという言葉は和製英語でマイクロコンピュータの略語です。(無線でもありますね、マイコンプレッサの略がマイコンです。)しかし、正確にはパーソナルコンピュータといい、この意味は個人の電子計算機という意味です。(略してパソコンといいます。)

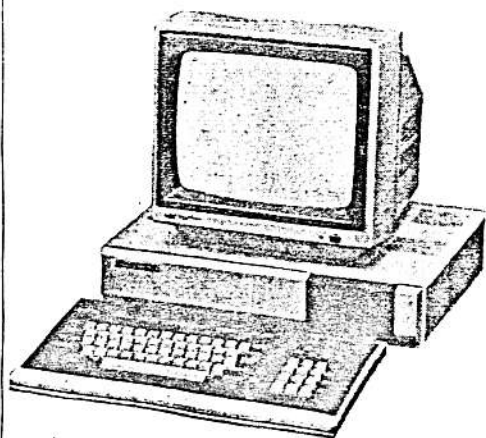
電卓がありますが、マイコンはこの電卓にメモリ(記憶装置)が追加されています。大きく分けてマイコンの内部(ハードウェア)は、CPU(中央処理装置)、主記憶装置、入出力装置の三つになっています。今ハードウェアと書きましたが、コンピュータはこのハードウェアとソフトウェアの二つで成り立っています。ハードウェアとは、ICとCRP(ブラウン管)といったもので、ソフトウェアは、プログラムのことをいいます。ソフトウェアがなければ、コンピュータただの箱とよくいわれるように、ソフトウェアは非常に重要なもので、このソフトウェアを入れかえるだけでいろいろなことができるのが特徴です。ソフトウェアつまりプログラムとは仕事の手順のことです。プログラムを組むには、コンピュータに判る言葉で組んでやる必要があります、そのプログラム言語は大きく分けて低水準言語と高水準言語とがあります。低水準言語は機械語(マシン語)とアセンブリ語があり、プログラミングは大変です。

コンピュータ内部では、機械語つまり2進数で動作しています。高水準語はコボル(事務用)、フォートラン(科学技術計算用)、ベーシックとかいろいろあり、人間の言葉によく似ています。マイコンはこのBASICを使用しています。

先にも書いたように内部では0と1の2進数でしか動作できないので高水準言語を2進数に直し、また2進数を高水準言語にする通訳が必要になり、BASICではこの通訳をインタープリターとよびます。

マイコンというものがわかってもらえたでしょうか?最後に簡単なプログラムを書いてこの巻を締めたいと思います。

(d a J I I S J E)



LIST

行 番 号 (実 行 順 序)	{	10 INPUT	① / ドル何円かの相場を入力する
		20 INPUT	② (ドルを円に直すプログラムです) 何ドル現在もっているかを入力する
		30 A = E * D	← 計算
		40 PRINT	A ← CRT に表示させる
		50 END	← これでこのプログラムは終了です

KBC を考える。。。。。

(甲府盆地無線クラブ)

= 会員に望むこと =

あけまして おめでとう ございます。今年もよろしくお願いいたします。

私たち役員の任期も1月15日をもって終了します。1年間いたらない役員で各局にめいわくばかりかけ、又なにもで きなかったにもかかわらず各局の御協力に感謝すると共におわびを申し上げます。

若輩ながらこの一年をふりかえり、KBC はどうあるべきか、どうしたら良いクラブになるか、思っていること、先に立っているときにはいいにくかったことなどを書いてみます。ただこれは私個人の考えであり今のKBC にはむいていないのか、私の考えがまちがっているのか、十人十色考えがちがうということはこの1年間いやというほどに身にしみた年でしたので、これに対する意見をどしどし出して下さい。私なりに受け止め、人生のたしにしたいと思っています。

(1) 会員である以上ロールコールには出席するのが原則である

KBC 会則6条の2にもあるが、このクラブは趣味のクラブがゆえに出席欠席は自由であると思っている局が多いように見うけるがどうであろうか。みんなが色々な計画を立てて、それをスムーズに実行したいためにCM のあいまを見て、あるいはCM を変更してまでしてKBC 各局のためを思って発表しているのです。やむをえず欠席する時でも後日かならず内容とかキー局ぐらひは確認するのが会員の義務だと思います。

(2) KBC が行なう行事にも出席するのが原則である

CM 等やむをえず欠席するのはしかたがないことです。しかし他のことを変更してまで参加している人もいます。会員の和を作ることが各行事の一番の目的です。欠席することはKBC の会則に反したことになります。出席の局にそれなりの気持ちを忘れないで下さい。

(3) K B C は会員全員のためにあるのです

ある局は、役員のためにあるかのごとき発言をする局があります。役員は報酬をいただいているわけではありませんし、他の会員以上にK B C に奉仕をしているつもりです。K B C は特定の個人のためにあるものではありません。ですから、ロールコールに欠席しても特別のことはないかぎり役員から連絡することはありません。これをするにはいくらかの金もかかりますし先に書いたように会則に反している人のためにわざわざ連絡するのは不自然です。

(4) 会話の内容はマイクを持つ人によりきまります

よくだれだれが出ていると話がおちすぎて話の中に入れない、よくわからない話（マイコンのことなど）をきいているのでB K がかけられないというようなこと耳にすることがあった。これはひきょうだと思ふ。話がおちるのはあなたが出てくれないからなのです。あなたが5・40にちょくちょく出て話の内容を高めて下さい。わからない話の時もどンドンB K をかけてほしいと思います。5・40 K B C の会員であるかぎりB K があれば出ている各局共通の話をするようころがけるはずです。

思いつくまま書きましたがいかがでしょう。わずか数人から始まり今二十数名、出入もありました。しかしこのごろのK B C を見ているとなにか考えてしまいます。そこでこんなことを書いてみたのですが・・・

K B C 発足当時会員数は10～15名を限度としようという話があったそうです。積極的にアクティブに活動する局のみのクラブにしようとする気持ちがよみとれるではありませんか。会則6条の1（保証人制度）はそうしたところから生まれてきたのです。K B C ニュース前号で事務局が書いているように、この条項はものすごい重みを持っているのだということを感じます。

長期欠席の届けが出ている局はJ E I O V V
J L I J T T J A I V H D の3局のみです。
他の局はすくなくともロールコールへの出席、
各行事への参加、やむなき欠席の時は欠席届け
後日内容確認、これだけは会員としての義務だ
ろうと思います。

1年間の御協力に、再度感謝を申し上げ、この稿を終りにいたします。ありがとうございました。

(会長・・・J I I V E P)

